

令和7年 第4回 定例会

本会議

委員会

市長提出議案48件を可決

7年第4回定例会は、11月28日に開会し、本会議において議案を審議し、市長提出議案48件を可決しました。

可決した市長提出議案のうち、委員会への付託を省略した主な議案は次のとおりです。

●全議案の審議結果は4ページへ

付託を省略した主な議案

■認定こども園の認定の要件並びに設備及び運営の基準に関する条例の一部改正
■乳児等通園支援事業の設備及び運営の基準に関する条例の一部改正



本会議のようす（今定例会の会期は11月28日～12月18日）

常任委員会で付託議案を審査

本会議で付託された市長提出議案42件は、各委員会で慎重に審査を行いました。主な審査状況は次のとおりです。

総務企画委員会

開催日 12月8日

■職員の分限に係る手続及び効果並びに失職の特例に関する条例の一部改正
■職員の懲戒の手続及び効果に関する条例の一部改正
■職員の降給や減給に関する規定を整備

問

職員を嚴重に処分する規定を設ければ不祥事がなくなり、市民の信頼が回復されるわけではないと考える。本改正は今後の本市にとってどのような効果があるのか。

答

懲戒処分の事例が発生した場合、本市には都と同等の減給規定がなく、停職などの過度に重い処分を決定せざるを得ないことも想定される。そのため、国や都との均衡を図る観点で改正するものである。本改正により、社会通念に照らし、公平・公正な処分を決定できる環境整備が行えると考えている。

の過度に重い処分を決定せざるを得ないことも想定される。そのため、国や都との均衡を図る観点で改正するものである。本改正により、社会通念に照らし、公平・公正な処分を決定できる環境整備が行えると考えている。



問

改正案には、職員の勤務実績が良くない場合に降給することができると規定があるが、判断基準が非常に曖昧と感じる。基準が明確でないと職員の不自信が高まり、委縮にもつながるのではないか。

答

分限処分に関する取扱指針に、どのような勤務状況の職員を処分対象とするのかを定めている。処分は、懲戒分限等審査会で審査した結果を経て任命権者が決定するため、恣意的な決定にはならないと考えている。

結果

可決すべきものと決定

■芸術文化会館の指定管理者の指定

■南大沢文化会館の指定管理者の指定

芸術文化会館・南大沢文化会館の指定管理者を指定

問

芸術文化会館と南大沢文化会館の設置目的は似ているように感じるが、市が2つの文化会館に求めることの違いは何か。

答

芸術文化会館は、市内全域を対象とした市民文化の支援拠点として、南大沢文化会館は、主に多摩ニュータウン地域を対象とした地域文化の発信拠点として、それぞれ地域密着性の高い事業を実施することを求めている。

結果

可決すべきものと決定

文教経済委員会

開催日 12月8日

■歴史・郷土ミュージアム条例設定
■図書館条例の一部改正

歴史・郷土ミュージアムを複合施設内に設置

問

八王子中央公園複合施設※内に新たに歴史・郷土ミュージアムを設置するため、条例を設定することである。本条例では、教育委員会の許可がない物品の販売行為等を禁止しているが、規制が厳しいのではないかと感じる。

答

絵本を積んだ車を公園内で運行するなど、既存の公立図書館では提供できなかったサービスなどである。これにより、さらに訪れたい図書館を目指していきたい。

問

図書館法では、図書館資料の利用は、対価を徴収しない、商品の販売が難しいのではないかと感じる。

答

事業者と調整し、にぎわいの創出や入館者の増加につながる販売行為等については、積極的に許可の手続きを進めていく。

指定管理者の指定に必要な規定を整備

問

同複合施設内に設ける憩いライブラリの管理を、指定管理者が行えるよう、規定を整備することである。民間事業者のノウハウの活用により、期待するサービスは、絵本を積んだ車を公園内で運行するなど、既存の公立図書館では提供できなかったサービスなどである。これにより、さらに訪れたい図書館を目指していきたい。

答

図書館法では、図書館資料の利用は、対価を徴収しない、商品の販売が難しいのではないかと感じる。

問

図書館資料の利用は、対価を徴収しない、商品の販売が難しいのではないかと感じる。



8年10月に開館予定の歴史・郷土ミュージアムの完成予想図

※八王子駅南口集いの拠点（愛称：桑都の杜）に整備する八王子中央公園内に設置する施設。施設は図書館（憩いライブラリ）や市民同士の交流スペースなどで構成